

有機農業振興に向けた活動

～「とちちオーガニック振興会」の取組～

十勝農業改良普及センター広域 クリーン・有機

1 活動対象及び概要

- 活動対象：有機農業実践者や関心のある農業者
- 活動概要：「有機農業者や関心のある農業者の交流の場づくり、生産技術や販路等の情報提供および支援」「消費者や民間事業者、関係機関などを含めたオーガニックのコミュニティ拡大」

2 背景・ねらい

背景

- 有機農業 ➡ 「収量が不安定」「除草作業等の労働負担の増加」「販路」などの不安
➡ 現状：取り組む農業者や生産される有機農産物が少ない
(※ 有機 J A S 認証取得事業者の比率は 2 % 未満)
- 有機農業実践者が点在、それぞれ独自の取組
➡ 消費者、関係機関などの有機農業認知度が低い現状

ねらい

- 令和 3 年 12 月に設立した「とちちオーガニック振興会」の取組
➡ 「有機農業実践者や関心のある農業者の交流」
➡ 「生産技術、流通・販売に関する情報交換の場づくり」

有機農業の振興

3 活動の経過

- 十勝総合振興局農務課、十勝農業改良普及センターが事務局として協力し、「とちちオーガニック振興会」を運営

企画検討員となる農業者（第 1 期：6 名 第 2 期：8 名）を交えた企画検討会議開催

- ➡ 振興会の活動方針および活動内容の検討や研修会を企画
- ➡ 研修会の開催、会員募集

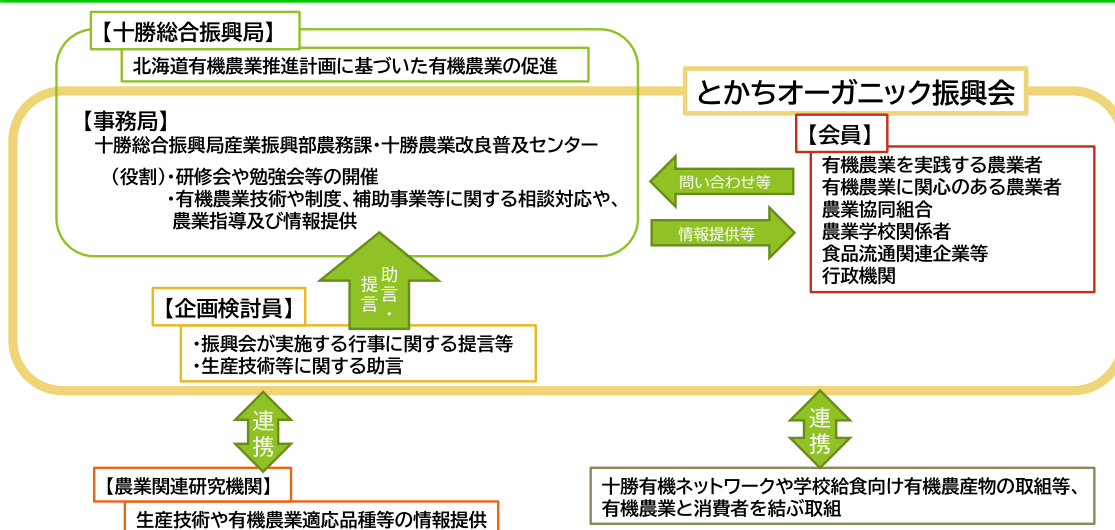


図 1 とちちオーガニック振興会推進体制イメージ (十勝総合振興局農務課作成)

4 活動の成果

○令和5年7月 現地研修会を開催（写真1、写真2）。

開催場所：有機農業者圃場および施設（芽室町と音更町の2戸）

参加者数：延べ67名

内容：経営内容、栽培技術、作業機械等を研修。

活発な質疑や参加者間の情報交換が行われた。

参加者の声「緑肥、施肥、土づくりが参考になった」

「有機農業にチャレンジしたいと思った」

企画検討員の評価「小麦、大豆は有機栽培に誰でも取り組めると思える内容だった」



写真1 現地研修会（芽室町）



写真2 現地研修会（音更町）

○令和5年12月 有機農業に関する勉強会

内容：「第1部 育種に関する意見交換会（参加者74名）」（写真3）

試験研究機関から馬鈴薯、大豆、小麦の育種に関する情報提供。

農業者からは「有機栽培に向けた病虫害抵抗性品種の育種」を要望。

「第2部 流通業者とのマッチング（参加者49名）」（写真4）

道内2社、道外4社が参加した。

有機農業で課題となる売り先確保のため、農業者と企業が直に対話できる機会をつくった。



写真3 育種に関する意見交換会



写真4 流通業者とのマッチング

5 今後の対応

○「とちかちオーガニック振興会」の運営を担い、有機農業の振興に取り組む。

○有機農業実践者、志向者への情報提供および支援を行う。